

**新本庁舎低層部等に係る
これまでの経緯／仙台市の目指す方向性**

令和3年7月 財政局本庁舎建替準備室

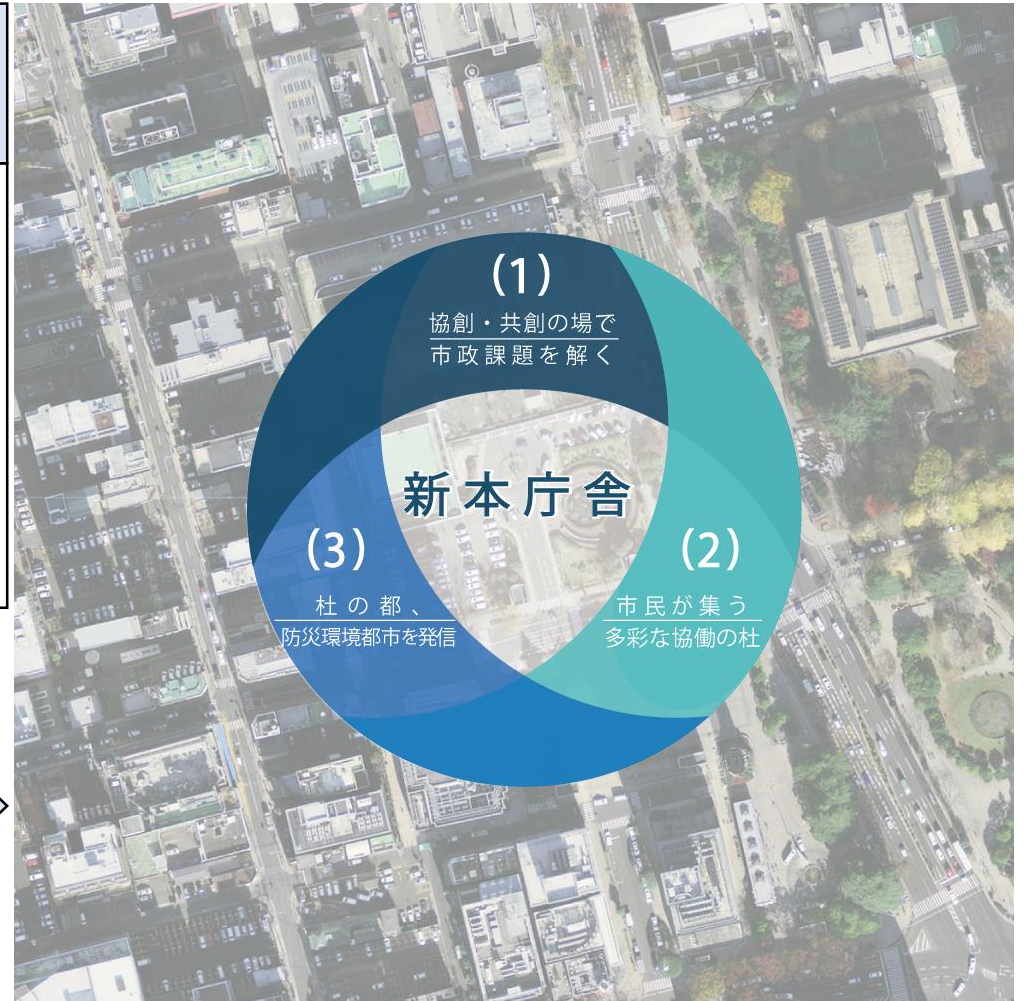
仙台市役所本庁舎建替基本計画①

新本庁舎が社会や市民に
発信するメッセージ

市民とともに、まちとともに
新たな時代に向けて
チャレンジする市庁舎

～市民の豊かな暮らしと安心のために～

目指す方向性を整理



仙台市役所本庁舎建替基本計画②

【新本庁舎の目指す方向性】

- (1) 行政庁舎として持続性と柔軟性を備え、協創・共創の場で市政課題を解く
- (2) 市民が集う多彩な協働の杜をつくる
- (3) 杜の都、防災環境都市を発信する

【新本庁舎の基本整備方針】



新本庁舎低層部に関するこれまでの経過

【～R1__事業可能性調査の必要性検討】

- ・ 財政収支やまちの回遊性等の課題解決のためには、建替えだけでなく、周辺の賑わいや勾当台エリアの価値向上を見据えた検討が必要

⇒周辺エリアが市庁舎に何を求めているかを調査する必要がある

【 R1.5-7__民間企業への調査】

- ・ サウンディング型市場調査（デベロッパー・銀行系企業を対象）
- ・ ヒアリング調査（コンサル・シンクタンク系企業を対象）

調査結果

- ・ **新本庁舎低層部及び市民広場の一体的利活用の必要性**
- ・ **明確なビジョンやテーマ設定の必要性**

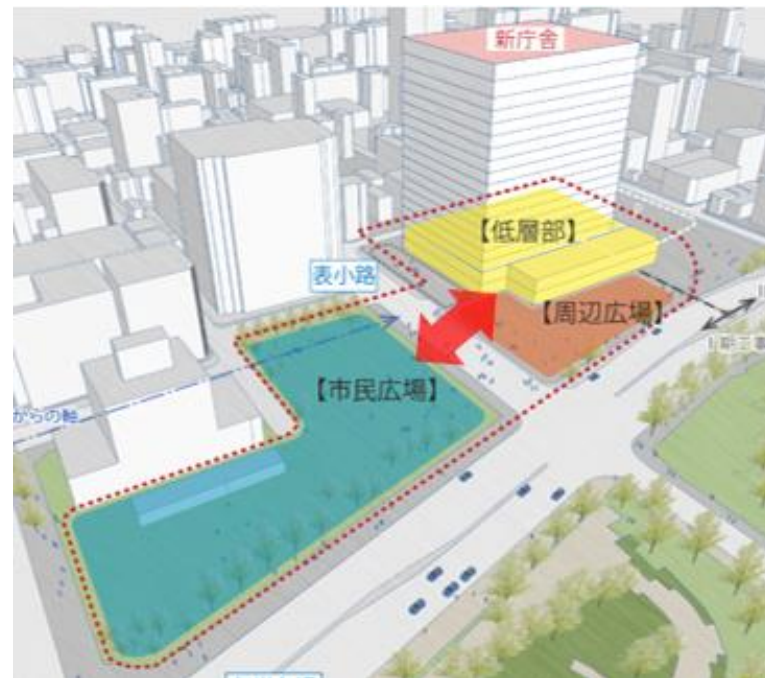
**新本庁舎低層部及び市民広場等の一体的利活用を前提に
民間活力の導入に係る事業可能性調査を実施するとともに
外部専門家も交えてビジョンやテーマの検討を行う必要がある**

低層部等事業可能性調査について①

仙台市役所本庁舎建替基本計画

新本庁舎低層部等の整備の方向性

- ①都市の新たな価値を生むための市庁舎
- ②都市に開かれた市庁舎



調査の
目的

- ・新本庁舎低層部を中心とした**新本庁舎内の共用空間、及び敷地内広場や勾当台公園市民広場を含む公共空間の一体的利活用の検討**
- ・市民利用・情報発信機能の施設整備・維持管理・運営等の検討
- ・**民間活力の導入手法と範囲、最適な事業プロセス・事業スキームの整理**

低層部等事業可能性調査について②

【新本庁舎の延床面積（建替基本計画より抜粋）】

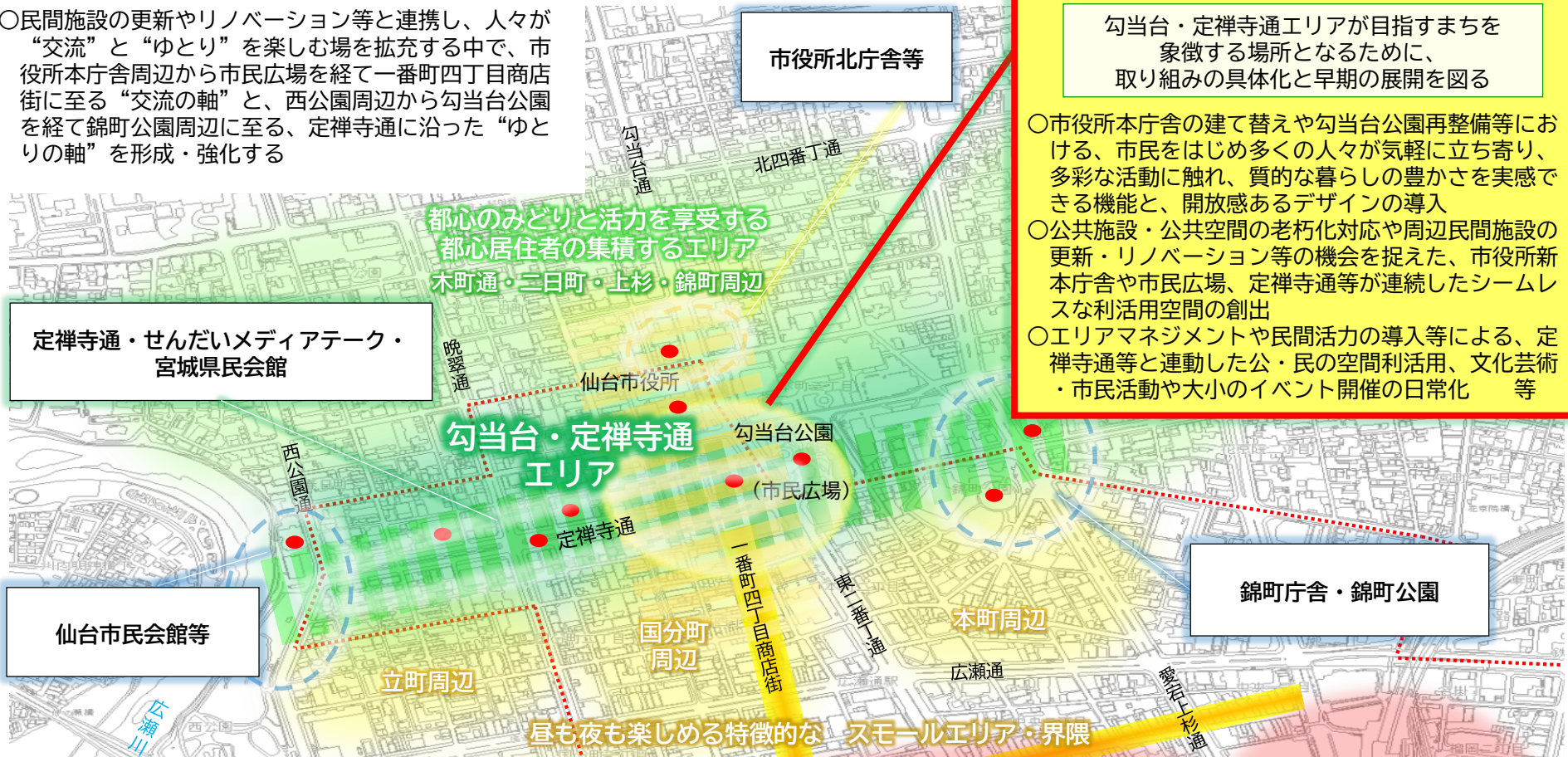
（単位：㎡）

	機能別		面積	小計	延床面積	
専有 部分	議会機能（答申面積最大値）		4,900	35,200	58,000 ～60,000	
	行政機能	執務室	一般執務室			16,500
			市長関連室			800
			特有諸室			2,200
		会議室	2,100			
		倉庫	2,300			
		その他諸室	2,700			
	災害対策機能		700			
市民利用・情報発信機能		3,000				
共用 部分	廊下・階段・E V・ エントランスホール等		18,300 ～20,300	22,800 ～24,800		
	地下駐車場 (勾当台公園地下駐車場除く)		4,500			

【参考】勾当台・定禅寺通エリアの検討について

【公共施設・公共空間を活かしてまちづくりに取り組む場所のイメージ】

○民間施設の更新やリノベーション等と連携し、人々が“交流”と“ゆとり”を楽しむ場を拡充する中で、市役所本庁舎周辺から市民広場を経て一番町四丁目商店街に至る“交流の軸”と、西公園周辺から勾当台公園を経て錦町公園周辺に至る、定禅寺通に沿った“ゆとりの軸”を形成・強化する



【重点ゾーン】市民広場等

勾当台・定禅寺通エリアが目指すまちを
象徴する場所となるために、
取り組みの具体化と早期の展開を図る

- 市役所本庁舎の建て替えや勾当台公園再整備等における、市民をはじめ多くの人々が気軽に立ち寄り、多彩な活動に触れ、質的な暮らしの豊かさを実感できる機能と、開放感あるデザインの導入
- 公共施設・公共空間の老朽化対応や周辺民間施設の更新・リノベーション等の機会を捉えた、市役所新本庁舎や市民広場、定禅寺通等が連続したシームレスな利活用空間の創出
- エリアマネジメントや民間活力の導入等による、定禅寺通等と連動した公・民の空間利活用、文化芸術・市民活動や大小のイベント開催の日常化 等

凡例	: 勾当台・定禅寺通エリア (市役所周辺～元鍛冶丁公園周辺～西公園周辺～愛宕上杉通周辺)	: 周縁エリア(都市再生緊急整備地域の外側) (商業・業務・居住機能中心)	: 周縁・近接エリア (商業・業務機能中心)	: 枠内 : 都市再生 緊急整備地域
凡例(勾当台・定禅寺通エリア内)	: 交流の軸 (交流の機会の促進と場の整備)	: ゆとりの軸 (ゆとりある環境の整備と魅力の発信)	: 【重点】市民広場周辺ゾーン	: 主な公共施設・公共空間

【参考】勾当台・定禅寺通エリアの検討について

まちづくりの理念

「交流」と「ゆとり」を楽しむところ」
多様な主体が協働して、
“仙台らしさ”や新たな価値を生み出す



エリアビジョンの趣旨を踏まえ、
当該エリアで“仙台らしさ”を意識した
施策・取り組みを展開することを検討

【重点ゾーン】市民広場等

勾当台・定禅寺通エリアが目指すまちを
象徴する場所となるために、
取り組みの具体化と早期の展開を図る

- 市役所本庁舎の建て替えや勾当台公園再整備等における、市民をはじめ多くの人々が気軽に立ち寄り、多彩な活動に触れ、質的な暮らしの豊かさを実感できる機能と、開放感あるデザインの導入
- 公共施設・公共空間の老朽化対応や周辺民間施設の更新・リノベーション等の機会を捉えた、市役所新本庁舎や市民広場、定禅寺通等が連続したシームレスな利活用空間の創出
- エリアマネジメントや民間活力の導入等による、定禅寺通等と連動した公・民の空間利活用、文化芸術・市民活動や大小のイベント開催の日常化 等

定禅寺通・勾当台公園・新本庁舎低層部の各エリアごとの役割や
エリア一体で目指すものについて、引き続き検討を進める